案件名
バヌアツ国向け「地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画（仮称）（包括方式）」に係る調査（ファスト・トラック制度適用案件）

質問と回答は以下のとおりです。

更新日：2025/5/12

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	P.11/33	第2章 5.(8) 橋梁等インフラ点検に必要な機材	「我が国の無償資金協力事業で建設した（する）橋梁及び道路の点検・補修に必要な機材を選定する。」とありますが、調査の中で選定するため、本調査の見積り価格には含まないものと理解してよろしいでしょうか。	機材選定の調査に必要な費用は見積に含めてください。選定される機材そのものの見積は調査の中で取得していただきます。
2	P.24/33	第3章 2.(2) 業務量の目途	「業務量の目途：約26.1M/M」とありますが、タガベ橋復旧及び迂回路建設いずれも対象とし、かつ、「国内作業1.概略設計」・「国内作業2.詳細設計・入札図書案作成」・「国内作業3.」のすべてを含む工数でしょうか。 また、上記M/Mのうち詳細設計で想定されている工種についてご教示をお願いします。	「業務量の目途：約26.1M/M」は、タガベ橋復旧及び迂回路建設いずれも対象とし、かつ、「国内作業1.概略設計」・「国内作業2.詳細設計・入札図書案作成」・「国内作業3.」のすべてを含む工数です。 詳細設計で想定している工種は、詳細設計の対象物（橋梁及び迂回路）を建設するために必要な全工種としてください。
3	P.28/33	第3章 4.(1) 上限額について	「【上限額】150,479,450円（税抜）」の内訳として、橋梁下部工詳細設計に杭基礎を考慮されていますでしょうか。また、この内訳に橋梁のほかに想定されている工種があればご提示頂けませんでしょうか。	橋梁の基礎は現時点で杭基礎を想定していますが、調査の中で確認・決定されます。現時点で想定される工種を明記の上プロポーザルを提出ください。 橋梁の他に想定している工種は、迂回路建設に必要な全工種となります。河川改修は想定していません。なお、中央病院及び国際空港の壁面補修に関しては優先度が劣後するため、橋梁及び迂回路の入札後の残余金の中で設計含む対応の可否を検討予定です。
4	―	全体	ENは締結済みでしょうか？EN金額をご教示ください。	E/N締結は6月下旬を想定しています。 本事業については閣議請議未了のため現時点でEN額は開示できません。分かり次第速やかに連絡します。
5	―	全体	GA締結予定時期をご教示ください。	G/A締結は6月下旬を想定しています。
6	―	全体	本業務はJICAと施主の2機関との契約のもとで進められるのか？または、バヌアツ側が施主となり進めることになるのか？その場合、JICAはどのような立場になりますか？変更契約の場合の対応方法をご教示ください。	公示文書第2章「4.業務の範囲」のとおり、契約は先方政府実施機関とコンサルタントの間で締結することになります。JICAは先方政府実施機関に、今回の公募を通じて選定したコンサルタントを推薦します。
7	P.15/33	第2章8頁（7）	本業務では準備調査を実施しないとあるが、企画競争説明書にはカテゴリーB執筆要領に基づいたIEE（またはEIA）、ARAPが求められている。これらの環境社会配慮に係るプロセス（本業務における環境社会配慮の位置づけ、JICA環境審査部によるレポート承認の要否、ステークホルダーミーティングの実施時期、成果品と期限、バヌアツ側からの承認取得期限等）についてご教示ください。	**【環境社会配慮の位置づけについて】** 本事業は「緊急時の措置」の適用対象事業です。 そのため、一般無償で必要な環境社会配慮に係る手順を踏まず、閣議・E/N・G/Aを進めます。ただし、通常のカテゴリB案件同様の対応は実施する必要があるため、G/A締結後本体工事の入札公告前までにIEE等必要な環境社会配慮に係る手続をを行う必要があります。なお、本事業はカテゴリB案件としてカテゴリ分類を公開していますが、調査を通じてカテゴリ変更の必要性を認識された場合は、随時JICAに相談願います。 **【JICA審査部によるレポート承認の要否】** 承認は必要です。 **【ステークホルダーミーティングの実施時期】** IEE等に合わせて実施する想定です。 **【成果品と期限】** p.24/33の(1)業務工程計画（案）をご参照ください。2026年1月までに、「環境社会配慮カテゴリB案件報告書執筆要領」に従い執筆いただいた調査報告書を提出していただきます。 ※p.24/33の(1)業務工程計画（案）、「(前略)2025年1月までに調査報告書を含む(後略)」は「(前略)2026年1月までに調査報告書を含む(後略)」の間違いです。失礼いたしました **【バヌアツ側からの承認取得期限】** JICAとしては本体工事開始までに事前評価表による環境レビュー結果を公開します。調査においてバヌアツ国の承認が必要となる手続があると判明した場合は、バヌアツ国の方針にしたがって承認を取得してください。
8	P.20/33	第2章13頁（23）	本業務では準備調査を実施しないとあるが、企画競争説明書（２３）には「積算審査の要否に関しては別途検討する」とある。これはどういう意味でしょうか。	コンサルタントの施工監理業務や追加業務（発生する場合）の積算については通常の無償案件と同様にJICAによる積算審査を実施予定です。本体施工に関する事業費積算については別途簡素化を検討します。
9	―	全体	通常の無償準備調査で実施する国内における対処方針会議、設計方針会議、本邦企業説明会は不要との理解でよろしいでしょうか。	対処方針会議、設計方針会議、本邦企業説明会は実施します。参加はコンサルタントとJICA、必要に応じて実施機関を想定しています。オンライン会議も可とします。
10	P.21/33	第2章14頁（29）の2）	「概要資料」の位置づけ、提出時期を教えて欲しい。通常は閣議前の調書③の一部との理解であるが、今回も必要でしょうか。	失礼しました、第2章（２９）の２）において「概要資料」は削除します。
11	P.28/33	第３章のP.6の3)	JICA フィジー事務所への報告」に「各現地調査往路に業務主任者（又は副業務主任者）～」とある。本業務は副業務主任を擁立して業務管理Gを設けることは可能か？その場合、業務管理Gとして評価されるのでしょうか。合わせて若手加点対象となりますでしょうか。	副業務主任を擁立し業務管理Gを設けることは可能です。評価は別紙2にしたがって行います。若手育成加点は今回対象としていません。 なお、別紙2を修正しておりますので、更新版をご確認ください。

12	ー	全体	本業務はファストトラック制度適用案件であるが、先方負担事項の履行についてはバヌアツ側に通常通りの規模、内容を求めるとの理解でいいか？緩和措置や特例措置等があれば教えてほしい。	通常の無償資金協力事業における一般的な先方負担事項（用地確保、便宜供与、各種建設許可の取得、道路ユーティリティ（支障物件）の移設、交通規制、施工ヤードの確保、環境社会配慮に係る手続き等）は先方負担としますが、既存橋の撤去については緊急性を鑑み、無償資金協力事業として実施することとしています。
13	ー	全体	コンサル契約を現地政府と行う場合、いつ頃が想定されているか？その場合は通常の実施業務同様にJICA発行の推薦状を持って現地で契約に臨むのでしょうか？	G/A締結は6月下旬、またコンサルタント契約は６月下旬から７月上旬を想定しています。実際にはコンサルタント団内の都合も考慮の上で現地渡航日程を想定いただくようお願いします。G/A締結予定日、コンサルタント推薦状発出予定日等は随時お知らせします。
14	ー	全体	現地政府との契約の場合、業務はその契約締結後に開始されるとの認識で宜しいでしょうか？	ご認識のとおりです。
15	P.21/33	第2章14.15頁の7.成果品等	成果品は通常の準備調査と同様のものが要求されていますが、現地政府との契約の場合、これらの成果品がすべて必要となるのでしょうか？	第2章（２９）の２）において「概要資料」は削除します。現地政府へ提出いただく前にドラフト版をJICAに提供いただき、JICAが内容を確認します。
16	P.4/33	第1章1-2頁、5.（2）提出方法	メールで電子データ（PDF）での提出とします。となっておりますが、受信できるファイルサイズをご教示ください。	メールで送付頂く場合にJICAが受領できる最大サイズは20MBですが、20MBを超えるファイルを送付される場合はJICAにてGIGAPODのフォルダを用意いたしますので、その場合は資金協力業務部実施監理第四課への連絡をお願いします。
17	P.27/33 及び P.29/33	第3章 5頁2.（7）現地再委託 7頁2.（2）別見積について	現地再委託について別見積として下さいと記載がありますが、別のページでは現地再委託を別見積の費目とはされていません。 別見積としてよろしいでしょうか。 別見積で無い場合は数量をご指示いただくか、定額での計上をご検討をお願いいたします。	別見積としてください。
18	P.27/33 及び P.29/33	第3章 5頁2.（8）調査補助員 7頁2.（2）別見積について	調査補助員について別見積として下さいと記載がありますが、別のページで調査補助員を別見積の費目とはされていません。 別見積としてよろしいでしょうか。 別見積で無い場合は数量をご指示いただくか、定額での計上をご検討をお願いいたします。	別見積としてください。
19	P.19/33	第2章（16）相手国側負担事項の整理	「これらの調査結果は無償資金協力として事業を実施する際の相手国政府負担事項としてミニッツに記載され」とございますが、ミニッツ締結はありますか？	現時点で署名予定のG/Aに記載予定の先方負担事項は質問１２の回答の通り。今後の調査結果を踏まえ、必要に応じてJICAと相手国政府の間でミニッツの修正を行います。 G/Aに記載予定の先方負担事項は、資金協力業務部実施監理第四課へお問合せいただければご共有いたします。
20	p.23/33	第3章（3）業務従事予定者の経験、能力 1）評価対象業務従事者の経歴	「業務主任者が担う担当専門分野を提案してください。」とございますが、 その下の2）では「業務主任者（業務主任者/橋梁災害対策）」と専門分野も規定されております。どちらが正しいでしょうか。	第3章p.2／2.業務実施上の条件(3)に記載のとおり、「業務主任者（業務主任者／橋梁災害対策）」はあくまで案として考えていただければと思いますので、業務主任者が担う担当専門分野を提案してください。
21	p.23/33	第3章（3）業務従事予定者の経験、能力 1）評価対象業務従事者の経歴	業務主任者のみが対象と読み取れますが、別紙2プロポーザル配点表では道路計画と橋梁計画も評価対象となっております。 どちらが正しいでしょうか。道路計画と橋梁計画が評価対象の場合イ）業務主任者としての経験の評価は必要でしょうか。	記載漏れ失礼いたしました。業務主任者以外の構成員も対象と考えてください。
22	p.4/33	第1章　企画競争の手続き 5.プロポーザル等の提出	プロポーザル、各見積書、JV協定書等の宛先は「独立行政法人国際協力機構 資金協力業務部 部長 山本直史氏」との理解でよろしいでしょうか？	文書の宛先はご理解の通り。 提出先の以下にお願いします。 資金協力業務部　実施監理第四課 gltm4@jica.go.jp
23	p.9/33	第2章　業務の目的・内容に関する事項 4.業務の範囲	「同コンサルタントを当該無償資金協力事業におけるコンサルタントとしてバヌアツ側に推薦する予定である。当該業務は、選定されたコンサルタントが先方政府実施機関との契約により実施し、その費用は無償資金により賄われる想定である。」との記載がありますが、本件のE/Nはすでに締結されているという理解でよろしいでしょうか？ また、締結されている場合は、その対象範囲はコンサルタントの本調査分（概略設計から詳細設計・入札図書案作成）までしょうか？	本事業は閣議請議未了のため、E/Nは未締結です。 E/N・G/Aは閣議後締結予定で、その範囲は調査及び本体すべてを含みます。
24	p.10/33	第2章　業務の目的・内容に関する事項 5.実施方針及び留意事項 (7)迂回路建設計画	(「別添_現場周辺図」参照)とありますが、別添資料が添付されておりません。	失礼しました。別添が漏れていたため公募資料を追加しております。ご確認ください。
25	P.24/33	第3章　プロポーザル作成に係る留意事項 2．業務実施上の条件 (1）業務工程計画（案）	概略設計の設計・積算審査は2025年10月中旬からとの理解でよろしいでしょうか？ その場合、審査に要する期間はどの程度でしょうか？	設計・積算審査は2025年10月中旬頃に開始し、約2か月間で終了させる想定です。ただし、審査の簡素化を検討します。質問番号8への回答も参照願います。
26	P.24/33	第3章　プロポーザル作成に係る留意事項 2．業務実施上の条件 (2）業務量の目途	業務量の目途が、約26.1M/Mとなっておりますが、業務量（概略設計・詳細設計及び入札図書案説明）に比べ少ない感を受けます。妥当でしょうか？ また、各格付けの報酬単価の上限金額は貴機構調達部が規定する単価という理解でよろしいでしょうか？	上限額の範囲で適切と考える人月を提案願います。 各格付け単価はJICA調達部の規定に従ってください。

27	p.1/33 及び p.2/33	公募件名 業務名称	公募件名と業務名称が異なっております。 プロポーザル・見積書提出の場合は、業務名称「バヌアツ国向け「地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画（仮称）（包括方式）」に係る調査（ファスト・トラック制度適用案件）」で良いでしょうか？　回答をお願いします。	プロポーザルに記載する業務名称は「バヌアツ国向け「地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画（仮称）（包括方式）」に係る調査（ファスト・トラック制度適用案件）」でお願いいたします。
28	p.2/33	調達管理番号	本件業務の調達管理番号の記載がありませんが、無しと言う理解で良いでしょうか？ （1-1頁、1-2頁が２つあります） 回答をお願いします。	本調査はJICAが調達し、契約するものではないため、調達管理番号はございません。JICAが今回の公募を通じてコンサルタントを選定した後、同コンサルタントを当該無償資金協力事業におけるコンサルタントとして、バヌアツ政府に推薦します。業務は、選定されたコンサルタントが先方政府実施機関との契約により実施し、その費用は無償資金によって賄われます。
29	p.3/33	第1章 1項（１）業務名称	質問No.1　に対し、第１章１項（１）では、 業務名称「バヌアツ国向け「地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画（仮称）（包括方式）」に係る調査（ファスト・トラック制度適用案件）」と、（仮称）の記載がありません。プロポーザル・見積書提出の場合の業務名称をご提示ください。回答をお願いします。	プロポーザルに記載する業務名称は「バヌアツ国向け「地震の影響を受けた主要経済インフラの緊急復旧計画（仮称）（包括方式）」に係る調査（ファスト・トラック制度適用案件）」でお願いいたします。 本事業は閣議請議未了のため（仮称）としており、閣議決定をもって案件名が確定します。
30	p.5/33	第１章　5項（４）留意事項　1)	指名されたコンサルタントが辞退を希望する場合の期限は、いつまでになるのでしょうか？ 回答をお願いします。	JICAから選定（合格）の通知を受けたコンサルタントが辞退を申し入れる場合は、6月6日（金）の正午（日本時間（日本時間）までを期限としてください。
31	p.5/33	第１章　6項 （2）評価方法　1)技術評価	本件業務は、準備調査案件の場合のような、“評価配点表以外の加点として、業務管理グループ制度及び若手育成加点(一律２点の加点)”は該当しますか？回答ををお願いします。	業務管理グループ制度及び若手育成加点は該当しません。
32	p.10/33	第２章（5)調査基本方針	“タガベ橋架け替えに伴い必要となる迂回路（橋梁を建設を含む）は工事完了後撤 去せず、新設の道路・橋梁として基本的に同国の法規を満たし長期の供用に耐えうる もの（通水能力、活荷重、耐震性等）とする。”と記載があります。この道路・橋梁の長期供用に耐えうる期間とは、どの位の期間を想定されているのか？（道路舗装耐用年数●●年。橋梁耐用年数●●年でご返答願います。）	迂回路についても通常の道路・橋梁設計方法を適用することを想定しています。 他方、タガベ橋及び迂回路周辺を取り巻く環境、使用条件、費用を踏まえ、適切な設計供用期間を設定してください。 参考：我が国では2017年の道路橋示方書改定にあたって、橋梁の耐久性に関して、 ・橋の設計にあたっては，設計供用期間を定めなければならない。 ・設計供用期間の根拠を示す必要がある。 ・橋の設計供用期間は100年を標準とする。 としています。
33	p.11/33	第２章 (9)バウアフィールド国際空港 ターミナルビル及びビラ中央病院	“施設の最新の被害状況を確認の上、調査を通じて対象区画を選定するものとする”と記載されているが、この調査を担当する建築補修の専門家が、第３章、２ページ２．業務実施上の条件、(3)業務従事者の構成（案）に含まれていません。これは業務量目途26.1M/Mの中でコンサルが提案することになるのでしょうか？回答ををお願いします。	現時点で中央病院及び国際空港の壁面補修にかかる設計等の業務は含まれないとご理解ください。質問３にも回答させて頂いている通り、中央病院及び国際空港の壁面補修に関しては優先度が劣後するため、橋梁及び迂回路の入札後の残余金の中で設計含む対応の可否を検討予定です。
34	p.23/33	第3章　1項 （３）業務従事予定者の経験能力 1)評価対象業務従事者の経歴　及び 2)業務経験分野等	左記1)では「業務主任者」を評価対象としています。2)では【業務主任者（業務主任者/橋梁災害対策）格付の目安(2号)】の１名としています。別紙２プロポーザル配点表では(業務主任)（道路計画）（橋梁計画）の３名に配点が有ります。 評価対象業務従事者が１名か３名か明確に提示してください。また、（道路計画）（橋梁計画）を対象とする場合は、①対象国及び類似地域、②語学能力等の提示をしてください。	失礼しました。別紙２プロポーザル配点表を正とし、業務主任、道路計画、橋梁計画の３名を評価対象とお考えください。 対象国及び類似地域は島嶼国及び全世界が対象、語学は英語となります。 なお、別紙2を修正しておりますので、更新版をご確認ください。
35	p.27/33	第3章 2.業務実施上の条件 (7)現地再委託	5頁(7)項には、現地再委託費は別見積と記載されていますが、7頁4.見積書作成に係る留意事項(2)には、現地再委託費の記載がありません。 現地再委託費は別見積で提出し、評価対象外(上限額に含まない)との理解で良いか回答をお願いします。	別見積としてください。
36	p.27/33	第3章 2.業務実施上の条件 (8)調査補助員	5頁(8)項には、調査補助員費は別見積と記載されていますが、7頁4.見積書作成に係る留意事項(2)には、調査補助員費の記載がありません。 調査補助員費は別見積で提出し、評価対象外(上限額に含まない)との理解で良いか回答をお願いします。	別見積としてください。
37	p.33/33	別紙２プロポーザル配点表	企画競争説明書第3章　1項（３）と異なる評価対象業務従事者になっていますので、明確に提示してください。 （道路計画）（橋梁計画）の評価項目・配点に本件では適用しない業務管理グループの評価項目「イ）業務主任者としての経験」が有りますが、本件はこの評価項目を適用するのか回答ををお願いします。	失礼しました。別紙２プロポーザル配点表内の3（２）業務従事者（道路計画）の経験・能力 及び（３）業務従事者（橋梁計画）の経験・能力の「イ）業務主任者等としての経験」は削除します。 なお、別紙2を修正しておりますので、更新版をご確認ください。